



2月の園だより

令和8年2月2日

目黒区立菅刈保育園園長



1 月中旬以降、一際寒い日が続いていますが街のあちらこちらでは紅白の梅の花が咲き始め、春の訪れを待ちわびているようです。

2 月 3 日に節分行事が行われます。節分＝鬼というイメージが強くありますが、節分は「みんなが健康で幸せに過ごせますように」という意味をこめて、邪気の象徴である鬼を追い払う日とされています。心の中に宿る“欲望(赤)”“憎しみ(青)”“後悔(黄)”“不健康(緑)”“疑惑(黒)”という 5 色の鬼を、魔を滅するという意味を持つ炒った豆を投げて自分の心の中の鬼を退治するのだそうです。今年も「おには～そと、ふくは～うち」と大きな声で豆を投げて、菅刈保育園のみんなが健康で過ごせる一年であることを願います。

先日、3 歳児クラスの子どもたちが育てたほうれん草がたくさん実り、調理職員がごま油と醤油で炒めたナムルにして幼児クラスの子どもたち全員で食べました。一口ずつではありましたが、いつもは苦手な葉物野菜を「りす組さんが大事に育てたほうれん草だから、食べてみる」とパクリ。「ちょっと好きじゃない味だけど、美味しかったよ」「調理の先生、美味しく作ってくれてありがとう」と嬉しい声がたくさん聞かれました。美味しいものを食べると自然と笑顔やおしゃべりも弾みます。そんな子どもたちの姿に、見ている私も自然と笑顔になり心の栄養を貰えたひと時でした。自分でやったという体験や友達と一緒にという社会性も身につけていることを実感しました。



2月の予定

・節分 ・初旬 身体測定 ・中旬 避難訓練



幼児3クラスに聞いた、人気のおやつを紹介します！

後日レシピを公開予定です



うさぎぐみ（4歳児クラス）
ジャコ大豆おにぎり



きりんぐみ（5歳児クラス）
チーズクッキー



りすぐみ（3歳児クラス）
きびだんご





保育士が「お買い物に行こうかな」とバッグを持つと、子どもたちも棚からバッグを持ってきて腕にさげています。壁に貼ってある果物のところに行き「りんご買って」と言いながらバッグに入れる仕草をすると「ご(りんご)」「ば(ばなな)」と言いながら同じように入れ始めました。保育士が「美味しいね」と声をかけると、ニコッと笑いながら自分でパクッと食べたり、時には人形や友達に食べさせてあげたりしています。保育士とやりとりをしながら、真似遊びが楽しいつぼみ組の子どもたちです。

乳児クラスの
好きな遊びや
楽しんでいる遊びを
紹介します



つぼみぐみ (0 歳児クラス)



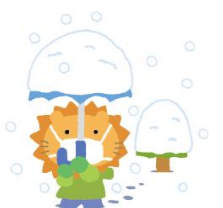
布テープとアイクリップで聴診器を作ってお医者さんになりきっています。お医者さん役の子が「どうしたの」と聞くと、患者さん役の子は「おなかが痛いのだ」と答えます。聴診器を友達のおなかに当てて「痛かったね」と言って薬をあげたり、布テープの絆創膏を貼ったりして遊んでいます。言葉が増えてきて、遊びの中で保育士や子ども同士でやりとりを楽しむ姿が見られます。その中で子どもたちのイメージを汲み取り、環境を整えながら遊びのイメージが更に広がるようにしていきたいと思っています。



すみれぐみ (1歳児クラス)



机上の遊びが楽しくなっています。中でも最近のお気に入りにはクマのメモリーカードです。神経衰弱のクマバージョンです。「クマさんやりたーい」と誰かが言うと次々とテーブルの周りに集まってきます。最初は 6 種類くらいのクマの絵から始めましたが、どんどん取れるようになり、今では 12 種類のクマで絵合わせを楽しんでいます。最初のうちは絵が合わないに怒ったり、自分の順番じゃないのにひっくり返してしまう事もありましたが、次にまた自分の順番がまわってくるのが分かって、ぐっと我慢できるようになってきています。



ひまわりぐみ (2歳児クラス)

